

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	桂川・支川対策特別委員会	会議場所	全員協議会室
		担当職員	佐藤
日 時	令和4年7月1日（金曜日）	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 11 時 08 分
出席委員	◎西口純生、○木村勲、大塚建彦、並河愛子、藤本弘、竹田幸生、菱田光紀		
出席理事者	【まちづくり推進部】伊豆田部長、藤本事業担当部長 [桂川・道路交通課] 信部課長、石田広域事業・交通係長		
出席事務局	井上事務局長、数井次長、佐藤主任		
傍聴者	市民0名	報道関係者0名	議員0名

会 議 の 概 要

10:00

1 開議（西口委員長あいさつ）

（事務局日程説明）

[まちづくり推進部入室]

2 案件

・河川改修の状況と今年度の計画について

[まちづくり推進部長あいさつ]

[桂川・道路交通課長より資料に基づき説明]

10:25

[質疑]

<木村副委員長>

今年度、桂川の浚渫計画はないのか。

<桂川・道路交通課長>

8ページの図に示しているが、今年度、曾我谷川の緊急性が高いということで、優先して浚渫される。本川の宇津根橋から月読橋については、昨年度おおむね土砂堆積の多いところは浚渫できたと聞いている。ただ、今年度も出水期以降の河道の堆積具合を再調査し必要な箇所の浚渫を行うと聞いている。一番心配されるのは、宇津根橋の少し下流と保津町の下浜の霞堤が上がったところの対岸の右岸の堆積が著しいということで、その付近を優先すべきではということで、出水期後に再調査される予定である。

<並河委員>

宇津根橋付近や保津川下りの辺りに多くの堆積土砂があるが、将来的な見通しはどうなのか。

<桂川・道路交通課長>

令和6年度まで浚渫事業債があり、優先順位を定めて堆積が著しい箇所から浚渫を実施すると聞いており、具体的に来年度はここということは言えないが、その都度必要箇所を検討すると聞いている。

<並河委員>

私の自宅付近にも田んぼがあり、雨が多く降れば逆流で水につかるという問題と、千代川町の区画整理事業との関係がどのようになるのか心配している。

<桂川・道路交通課長>

逆流に関しては、犬飼川の霞提の嵩上げを早期にさせていただくように要望していく。区画整理事業に関しては、下流のほ場整備の区間と一緒に実施する下水の幹線排水路ができるまでは、区画整理事業の中に調整池を計画以上に設けて、そこに雨水を溜めていただいている。当初の農地の段階で流出していた以上の水は、流れないように計画していただいている。

<菱田議員>

5ページ、令和4年度の実施事業として、築堤工事と堤防補強工事を挙げていただいているが、亀岡商工会館付近であると思うが、以前にアユモドキがいるから工事が遅れるといったようなことを言われていたが、どうなったのか。

<桂川・道路交通課長>

この区間に関しては、特にアユモドキとの関連は聞いていないので、予定どおり今年度進めていただけたらと考えている。

<藤本委員>

11ページの雑水川の工事について、迂回路ではなく新たな計画で実施していくということか。具体的に説明をお願いします。

<桂川・道路交通課長>

上下水やガス管などの地下埋設物の移設方法を検討する中で、これまでの橋梁構造では施工が難しいと聞いており、迂回路をなくすということではなく、迂回路の計画も含めて、橋梁の形式を見直すことになる。迂回路も北側に設ける案と南側に設ける案があると聞いている。近隣の方々と協議しながら、再度検討する必要ができたという聞いている。我々もいつになれば着工していただけるのか、常日頃から京都府に要望しているが、再検討する必要があると聞いている。

<藤本委員>

雑水川の北町橋から土橋で、工事を始めて、途中で台風が来て水があふれかけて、根本的に工事を見直すことになり、工事をやり直しておられる。下流の春日橋のほうも再度検討するという事になった。工事が途中から見直され、再検討するので、どんどん遅れていく。地元では「20年かかってもできないのか」というお声をいただいている。しっかり説明して、いつぐらいに、どのような形で直すのか、はっきり示していただきたい。一生懸命やっただけでいるのは分かるので、もう少ししっかり説明して、住民の理解を得ていかなければならないと考える。京都府の事業なので、市の立場から「早くしろ」とは言えないと思うが、しっかりと詰めていただきたいたいし、地元説明を丁寧にしていただきたいたいと要望しておく。

<桂川・道路交通課長>

京都府にどのような工程で進めていただけるのか、再度確認していく。北町橋付近も浸水で床下浸水の被害が出ているが、普通は下流から整備していくところ、雑水川は南郷池があるので、上流を先に整備しても、下流に負荷をかけないことから、北町橋付近も整備していただいている状況である。北町橋から南郷池までの間に落差工があり、もう少し河床を下げるのができないか、検討いただいている。

<竹田委員>

令和4年度の浚渫については、渡月橋から下流を実施するが、亀岡工区の浚渫も合わせて実施するのか。

<桂川・道路交通課長>

下流は下流で順次実施し、上流の桂川・保津工区については、堆積の著しい箇所から順次実施される。

<西口委員長>

今まで、上下流バランスのある整備促進と言われ続けてきたが、令和4年度には下流で多くの浚渫工事が実施される。この工事ではどのくらい流下能力が上がって、亀岡の整備は何ができるのかということを中心に情報発信してほしいし、次の工事を早期に実施できるように体制を整えておいていただきたいがどうか。

<桂川・道路交通課長>

下流の直轄区間では、何万立米と掘削をしていただいているが、亀岡工区の整備を進めるには、嵐山の一の井堰と派川の改修等を進めなければ、上流の整備は進んでいかないと聞いている。まずは、嵐山の工区を仕上げてくださいよう要望していきたい。どの段階で、亀岡の整備ができるのか情報共有に努めたい。

<藤本委員>

9ページについて、再度詳細な説明をお願いします。

<桂川・道路交通課長>

ステップ2は霞提の嵩上げ1メートルであるが、亀岡管内9か所のうち、現在5か所が上がっており、あと4か所上がれば、次のステップ3に移れることになる。ステップ3を進めるに当たり、嵐山の一の井堰や派川改修、河道掘削等とのバランスがあり、下流の進み具合により、ステップ3に進め、霞提をさらに50センチメートル嵩上げすることができると聞いている。明確にいつ頃になるかは確認できていない。

<西口委員長>

昨日の亀岡市桂川改修促進期成同盟の会議でも、京都府から、曾我谷川の霞提を後回しにするという発言があったが、これは、アユモドキとの調整があると思うが、本来、下流から整備するのが基本的な考え方の中で、飛ばすことは、議長も大変懸念している。亀岡市からは、しっかりと要望していかないと、負担がかかってくる。アユモドキでどうのこうのとなるのなら、専門家とは、「まちづくりと共生させる」と約束しているのだから、しっかりと伝えて、順番に下流から整備していただくよう要望していただきたい。

<桂川・道路交通課長>

京都府から協議の中で、犬飼川の霞提嵩上げを先に実施する案を聞いたことがあるが、その場合は、下流に影響がないことをシミュレーションして、地元で説明した上で、計画を示すと京都府から聞いている。基本的に、整備は下流からとなるので、しっかりと要望していく。

<西口委員長>

今まで、上下流バランスのある整備促進ということはずっと言ってこられたのに、ひっくり返すことになるので、忠告しておく。我々は、下流の整備を早くしてやってほしいとずっと要望してきたのに、その辺りの配慮もせずに、アユモドキがいるから、飛ばしていくのは、あり得ないことである。順序よくやってもらいたい。

<桂川・道路交通課長>

しっかりと伝えていく。

<大塚委員>

南郷池は毎年浚渫していただいておりますが、今回、中規模の浚渫をしていただいたが、まだ、堆積土砂はあるが、今後、もっと浚渫していただける計画はあるのか。

<桂川・道路交通課長>

具体的な浚渫計画は確認できていないが、要望があることは伝える。

<菱田委員>

春日橋や春日小橋の改修が進むと、南郷池の水の出口が広くなり、浚渫をしっかりとしなければ、そこから、堆積物がどんどん下流に流れていくので、しっかりと浚渫していただくよう要望していただきたい。

<桂川・道路交通課長>

しっかり伝えていく。

<藤本委員>

南郷池の浚渫について、毎年20センチメートルほど浚渫していただいているが、20センチメートルでは、大雨になったら一気に土砂が流れ込むのですぐに埋まる。もっと深く浚渫できないのかということを経営者に尋ねたら、「京都府からそんな予算をもらっていない」と言われた。まったく予算がつけられていないのではないのか。雑水川の整備と南郷池の浚渫が、しっかりと連動できていないような感じがするので、京都府にしっかりとこちらの要望を伝えていただきたい。伝わっていないのではないかと思いますのでよろしく願います。

[まちづくり推進部退室]

10:53

3 その他

<西口委員長>

今後の取組について、今期も残り少なくなっているので、何らかのまとめの的なことと、次にしっかりと継承していく方向性を見いだせればと考えるが意見はあるか。

<藤本委員>

嵐山から下流は、結構予算がついており、いろいろと整備されているが、上流に関しては、予算づけが全然できていないのではないかと思います。しっかりと予算をつけていただけるような形にもっていかないと何年経っても進まないのでは、見直す必要があると考える。

<並河委員>

令和4年度の事業実施区間の現地視察をしてはどうか。

<西口委員長>

現地視察については、今期のうちにどこか確認の意味で行ければと思う。

<藤本委員>

昨年も優先順位を決めて工事に取りかかると答弁されていたが、理事者が考える優先順位はどうかと思う。それを出してもらって、こちらから要望してはどうか。

<西口委員長>

事務局で調整してもらって、優先順位を示してもらうことは可能か。

<議会事務局長>

工事主体は京都府になるので、市の考えはお示しできないと考える。先ほどの答弁の中では、出水期を見て、優先順位を決めるとおっしゃっていた。

<西口委員長>

工事主体は京都府になるので、こちらからは要望としてしか言えないのではないかと考える。

<竹田委員>

亀岡市としてしっかり優先順位をつけて、京都府にしっかり要望してほしいと委員会から提案していただければと思う。

<西口委員長>

そのように進めることとしてよいか。

(全員了)

<竹田委員>

大型排水ポンプ車を亀岡市に配備してほしいと委員会から要望していただきたい。

<西口委員長>

私もずっと言い続けているが、1～2年前に、土木事務所長が、国に大型排水ポンプ車の配備を要望すると明言されたので、昨日の期成同盟の会議で、京都府にどうなったのか質問した。今の段階では予算はつけられていないが、京都府内には、合計で8台の大型排水ポンプ車があり、亀岡市と協定を結んで、どこからでも持って来られる体制をつくりつつあると言われたので、早急に進めるよう要望しておいた。しかし、ポンプ施設を設置すべきだと考えるので、委員会から何らかの指摘や提言ができればと考えるがどうか。

<竹田委員>

委員会として、方向性をまとめて提案することはできると考える。

<藤本委員>

推進をお願いする。

<西口委員長>

総合的な排水能力を持たすべきだと考えるので、文言については事務局と調整させていただいて、正副委員長に一任願う。

(全員了)

<藤本委員>

今回担当課からいただいた資料だが、昨年とほとんど変わっていないので、現場をもっと把握して、写真を撮り直して、作っていただかないと取組自体が甘いのではないかと感じる。

<西口委員長>

資料の内容について、検討するように申入れる。

～11:08